

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	国際関係 (International Relations)						
担当教員名	伊東 林蔵 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 現在、世界で起こっている国際紛争のうち、ロシア・ウクライナ戦争とイスラエルのガザ侵攻について学び、日本が出来る貢献について考えます。国際紛争が抱える歴史的背景を正確に掴むとともに、先進欧米諸国の影響や、国際的に形成されてきた特定の民族や地域に対する先入観や偏見を考察します。 講義形式ですが、皆さんにリアクション・ペーパーを提出してもらい、その内容について質疑応答します。</p> <p>[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしがった系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。「社会と歴史」、「グローバル経済総論」で学修した、歴史上の事象・事件が現在の社会生活にまで与える影響への理解と、世界経済の知識を援用して、現在世界で起こっている戦争の原因や未来への展望を考えます。</p> <p>[到達目標] (1) 現在起こっている国際紛争について、歴史的背景を踏まえた正確な知識を身に付け、説明出来る。 (2) 日本が国際紛争に無関係ではないことを理解し、建設的な解決策や貢献を検討出来る。 (3) 現代のサービス提供者としてふさわしい偏見を排したグローバルな視野を身に付ける。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス： 現在、世界で起こっている紛争や戦争の起源を考えていきます。			事前学修（90分）：皆さんが思い浮かべる国際紛争を考え、答えられるようにしてください。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
2	ロシア・ウクライナ戦争： 戦争勃発から現在まで。ロシア、ウクライナについての概説			事前学修（90分）：「ロシア共和国連邦」、「ウクライナ共和国」、「ロシア・ウクライナ戦争」について調べ、2022年2月、ロシアがウクライナへ侵攻を開始した理由を考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
3	ロシア・ウクライナ関係史①： 帝政ロシアとウクライナ地域の革命運動			事前学修（90分）：「ロマノフ朝」、「クリミア戦争」、「農奴解放令」、「タラス・シェフチェンコ」について調べ、19世紀末のウクライナ地域がどのような状況にあったのか考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
4	ロシア・ウクライナ関係史②： ロシア革命とウクライナ独立運動			事前学修（90分）：「ロシア革命」、「プレスト・リトフスク条約」、「干渉戦争」について調べ、この時期にウクライナでどのような独立運動が展開されたか考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
5	ロシア・ウクライナ関係史③： ソ連時代のウクライナ、烏蘇独波関係、第二次世界大戦			事前学修（90分）：「スターリン」、「コルホーズ」、「独ソ不可侵条約」について調べ、1930年代、独ソ両大国に挟まれたウクライナ地域の勢力関係について考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
6	ロシア・ウクライナ関係史④： 戦後ソ連とウクライナ、東欧革命			事前学修（90分）：「フルシチョフ」、「ブレジネフ」、「ゴルバチョフ」について調べ、第二次世界大戦後ウクライナがソ連の中でどのような状況にあったのか考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	
7	ロシア・ウクライナ関係史⑤： ウクライナ共和国の独立、オレンジ革命			事前学修（90分）：ソ連の解体と2004年の東欧諸国のEU加盟について調べ、ロシア・ウクライナ戦争におけるEUとウクライナの関係を考える。 事後学修（90分）：リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。		伊東	

8	日本・ウクライナ関係史①: マフノ運動の影響、満州におけるウクライナ独立運動への支援	事前学修(90分):「アナーキズム」、「満州」について調べ、第二次世界大戦前の日本がウクライナとどのような関係を持ったのか考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
9	日本・ウクライナ関係史②: 原爆・チェルノービリ・福島に際しての技術交流、ロシア・ウクライナ戦争に際しての支援	事前学修(90分):「広島・長崎への原爆投下」、「チェルノービリ原発事故」、「福島原発事故」について調べ、日本・ウクライナ間でどのような協力関係が可能であったか考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
10	イスラエルによるガザへの侵攻: パレスチナ問題とは何か?	事前学修(90分):「イスラエル」、「パレスチナ」について調べ、いつから、なぜ、パレスチナで紛争が起こったのか考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
11	パレスチナ問題の起源①: 「ユダヤ人」の歴史、アラブ世界の歴史	事前学修(90分):「ユダヤ人」について調べ、そもそも「ユダヤ人」とはどのような人々なのか考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
12	パレスチナ問題の起源②: シオニズム、パレスチナをめぐる欧米諸国の利害、ホロコースト	事前学修(90分):「フサイン・マクマホン協定」、「サイクス・ピコ協定」、「バルフォア宣言」について調べ、第二次世界大戦前から続く欧米諸国のパレスチナ問題への影響を考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
13	パレスチナ問題: イスラエル建国、中東戦争、パレスチナ解放機構、インティファダ、オスロ合意、イランとイスラエル	事前学修(90分):「パレスチナ分割決議」、「オスロ合意」について調べ、パレスチナ紛争が混迷を深めていく原因を考える。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
14	日本・パレスチナ関係史①: 日本とアラブ世界の関係史	事前学修(90分):日本とアラブ諸国の歴史的関係とパレスチナへの支援について調べる。 事後学修(90分):リアクション・ペーパーに書いた内容についての質問に回答出来るように準備する。	伊東
15	日本・パレスチナ関係史②: 日米同盟の影響、国際的影響	事前学修(90分):アメリカやヨーロッパ諸国、中国など大国のパレスチナ問題への姿勢と、日本外交への影響を調べる。 事後学修(90分):模擬期末試験問題を解く。	伊東
成績評価の方法と基準	リアクション・ペーパー及び授業中の質疑応答(50%)、期末試験(50%)。いずれも授業内容を理解し、自身の言葉で説明出来るかを問います。授業内容を覚え理解できていれば60%以上、自身の言葉で説明出来れば80%以上、自身で問題提起と解決策が検討出来ていれば90%以上の評価となります。期末試験における持込の有無は、授業の理解度に合わせて判断します。		
履修上の留意点	その都度、高校「世界史」、「日本史」、「政治・経済」の知識を前提とするため、予習・復習出来るように、教科書を準備してください。 授業中にコメントを求められた際に、無言や「分からない」という回答の場合は、無回答扱いになります。質問の内容が分からない場合も、自分なりに解釈して回答するよう心掛けてください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。		
教科書	指定しません。		
参考書・参考資料	レジュメを配布します。参考文献については、授業ごとにお伝えします。		
学生との連絡方法	オフィス・アワー、またはAAAを通じて相談してください。		
実務経験科目			